

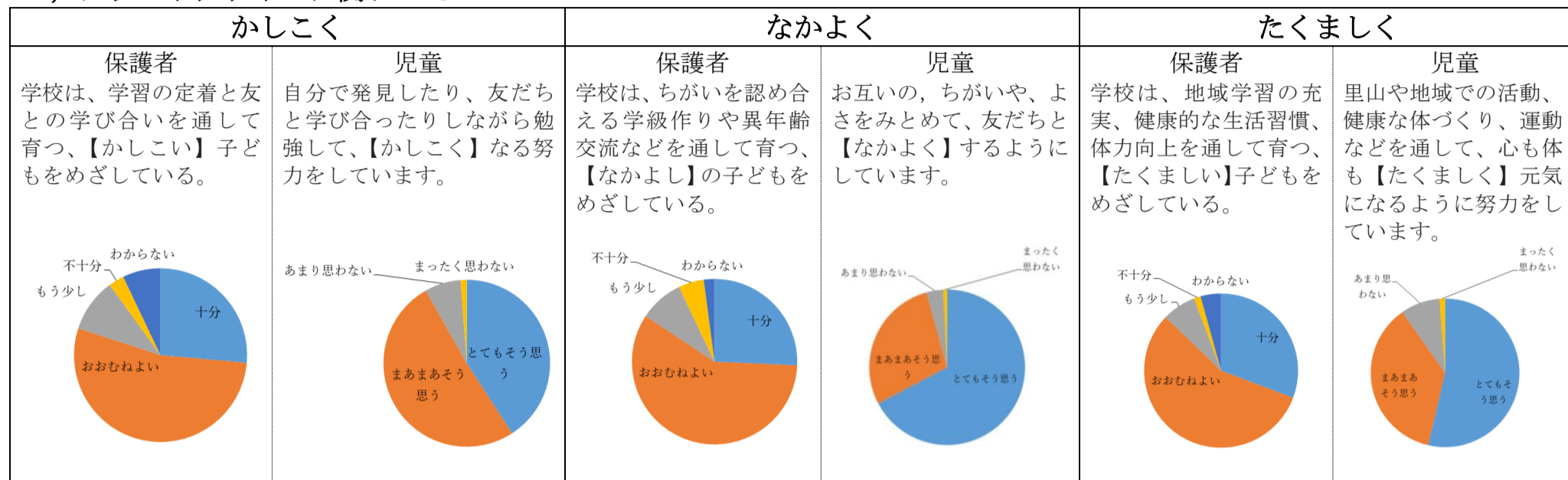
令和5年度 学校評価のまとめと考察

伊那市立伊那北小学校

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。集計および考察をいたしましたのでご報告いたします。今後の学校運営や学校生活づくりに生かして参りたいと思います。

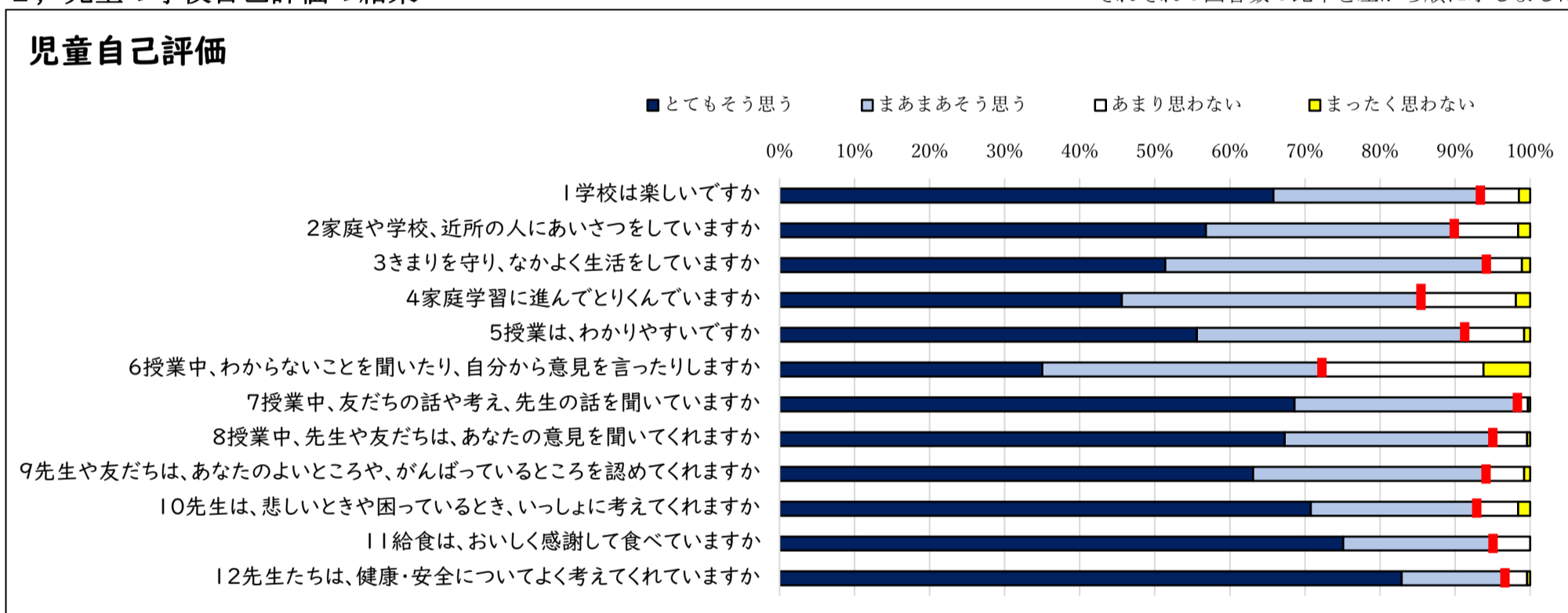
【回答率 児童88% 保護者48%】

1, グランドデザインに関わって

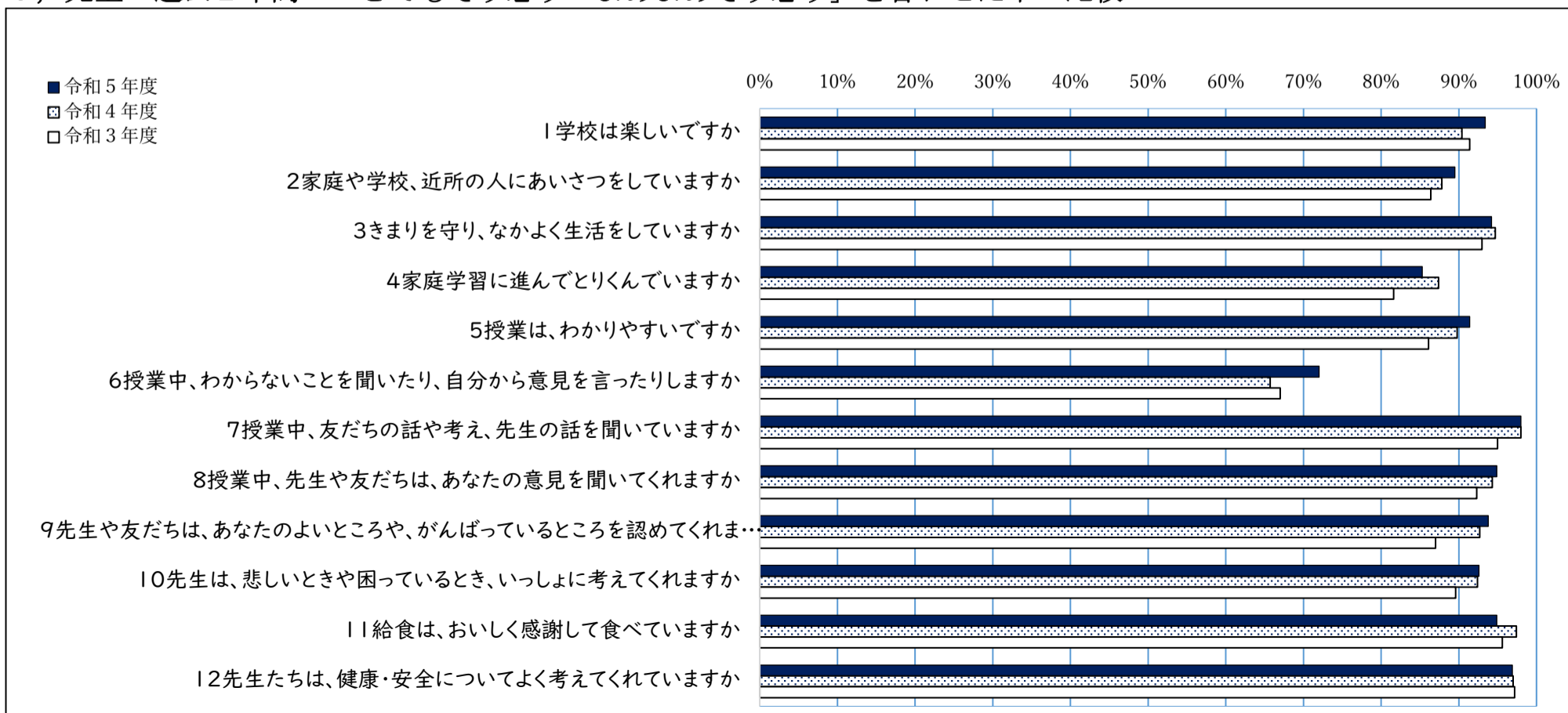


2, 児童の学校自己評価の結果

それぞれの回答数の比率を左から順に示しました。

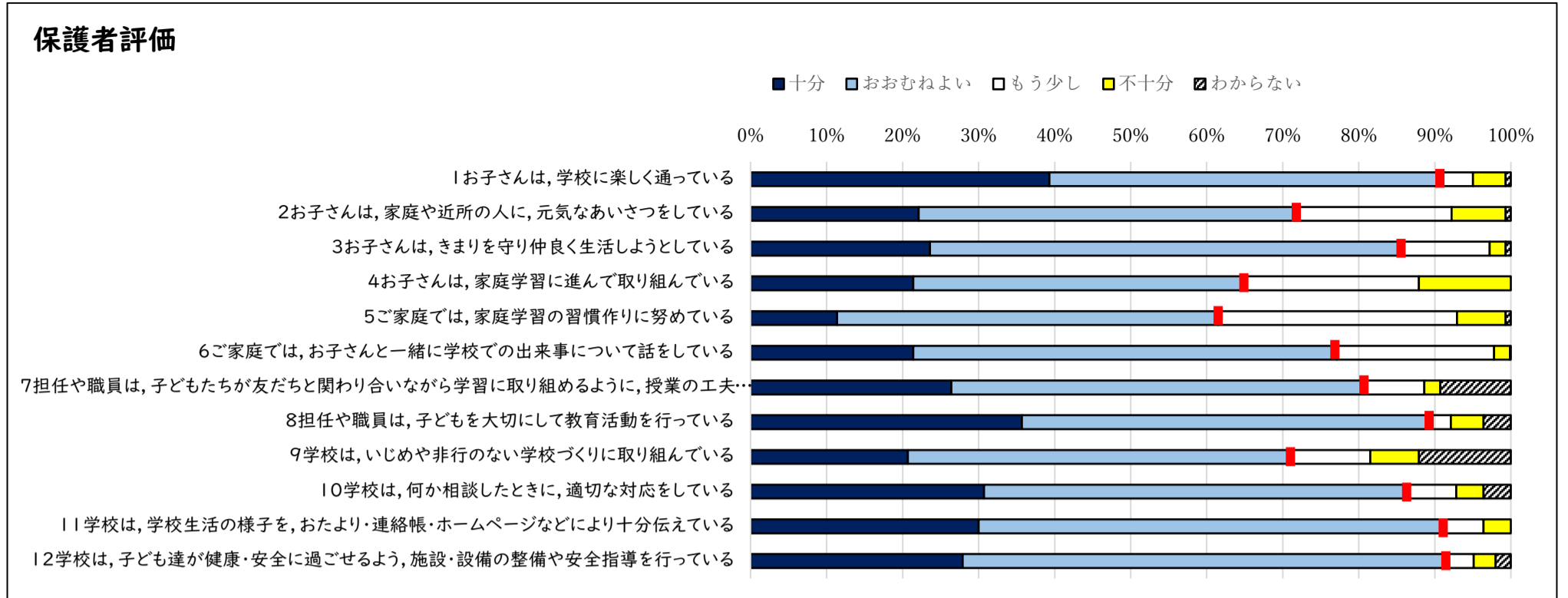


3, 児童の過去2年間の「とてもそう思う・まあまあそう思う」を合わせた率の比較

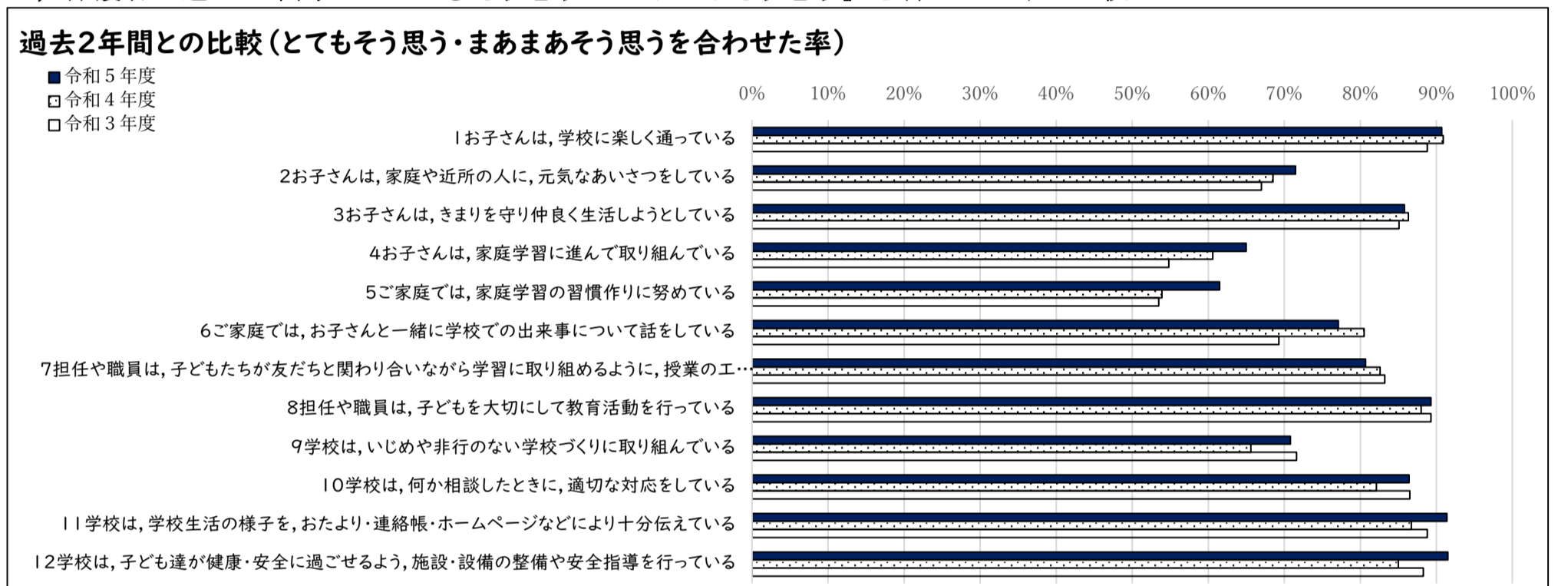


4, 保護者の皆様の学校評価の結果

それぞれの回答数の比率を左から順に示しました。



5, 保護者の過去2年間の「とてもそう思う・まあまあそう思う」を合わせた率の比較



児童アンケートの考察

今年度の子どもたちの肯定的な思い(とてもそう思う・まあまあそう思う)が多く項目において伸びていることについて嬉しく思います。質問項目5~8の授業は「5…わかりやすいですか」「6…意見を言ったりしますか」「7…話を聞いていますか」「8…意見を聞いてくれますか」に見られる伸びから、学級内の居心地の良さや安心して学んでいることが感じられます。私たちは、学級・学年を超えて子どもたちに声をかけ、子どもたちの様子を教師間で伝え合うことを心がけてきました。また、学年集会や学年行事を通して、日々子どもたちの姿を多くの目で見たり、子どもたちのよさを言葉で伝えたりし、学年の子どもたち同士のつながりを大切にしてきたことの現れであるとも感じています。また、授業では、具体や体験を通じた学習をしたり、ICTの効果的な活用により視覚的なわかりやすさにつなげたり、友だちの考えを閲覧し自分の考えに取り入れたりしながら学習してきたことの良さを子どもたちが感じているようにも思います。

昨年の課題であった「6 わからないことを聞いたり…」が大きく伸びており成果がみられました。新型コロナウイルスの心配もだいぶなくなり、友だちとの対話を通して、わからないことを仲間へ聞いたり、自分の考えなどを伝えあい広げたり深めたりしていく学習が積極的に行われていることの表れと考えられます。

子どもたちは、学校の「いいな」と思うことに、自然に恵まれた環境と共に全校や学級で行った体験的な活動をたくさんあげています。また、学校行事・児童会活動・学級や学年での活動などを通して、友だちとの関わりから生まれる楽しさや充実感を味わっているようです。この恵まれた環境を生かした活動を今後も子どもと共に創りだしていこうと思います。

保護者アンケートの考察

保護者の皆様に、学校が楽しい場所であると、とらえていただいていることを本当にうれしく思います。毎日の学校生活が充実する基となることです。今後も大切にしていきたいと思っています。

今年度の「4, 5家庭学習」についての伸びは、ご家庭での協力を大きく感じます。家庭学習の習慣化ができている子どもたちが増えてきています。一方、「もう少し」には至らない「不十分」という回答もあります。忘れてしまったとはちがうということです。できたという達成感を味わえるよう、その子にとっての適切な家庭学習となるように内容や方法を家庭と連携して考えていく必要があります。また、家庭学習の意欲の向上と継続のためには、子どもの学習を見とどけ、「できたね」「頑張れたね」などの声かけも大切になってきます。子どもの伸びようとする意欲を共に高めていきましょう。

9番以降の質問内容である「学校は…」という項目の回復を嬉しく思います。記述で回答をいただいた内容に、担任を含め職員と懇談をすることによって安心することが出来た。電話で声をかけていただくことが嬉しい等の回答をいただきました。今後も子どもを思う気持ちを共有しながら保護者の皆さんとのつながりを大切にしていきたいと思っています。

「言葉」は、教室の空気を作り出します。子ども同士や教師からのマイナス言葉やメッセージにより傷ついたり卑屈になったりする子どもたちです。「言葉は人を育てる」といわれます。子どもたちのより良い成長へとつながるように、今後も「言葉」を大切にしていきたいです。

自由記述では、「豊かな自然環境を生かした教育活動の取り組み」「子どもたちの仲の良さ」「通学路の安全面」などたくさんあげていただきありがとうございました。子どもの育ちを願って学習活動を工夫・改善をしていこうと思います。